

# 第5期経営健全化計画(平成26～28年度)の取組状況

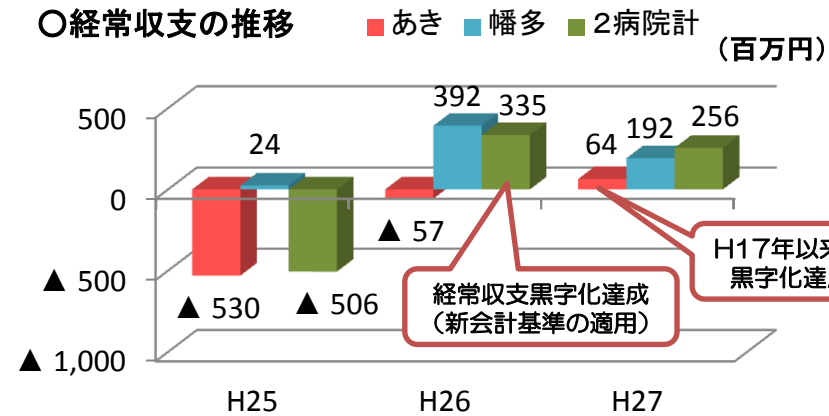
## ■目標

- 1 地域が必要とする医療の安定かつ継続的な提供
- 2 病院事業全体の早期の経常黒字化を目指す

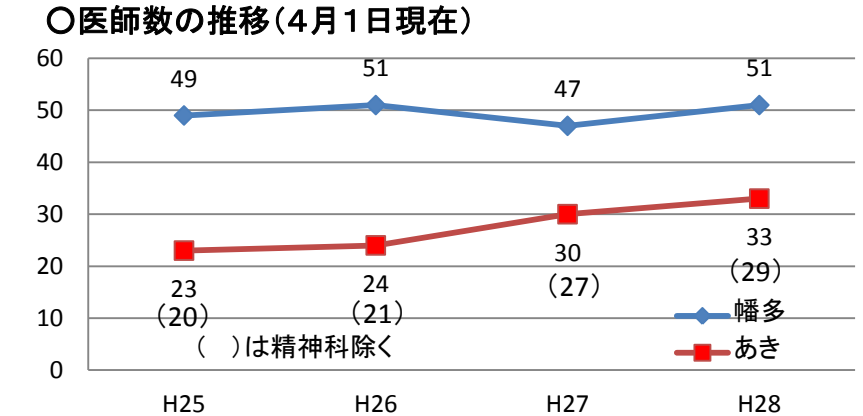
## ■重点取組項目

- 1 医療機能の充実
- 2 経営基盤の強化
- 3 医師をはじめとする医療スタッフの確保
- 4 人材の育成
- 5 南海トラフ地震対策の充実・強化

## ■経営目標:「経常収支の黒字化」



## ■重点項目:「医療スタッフの確保」



## 1 診療機能・経営指標の数値目標の状況(共通項目)

項目	あき総合病院			幡多けんみん病院			
	H26	H27	H28 (目標)	H26	H27	H28 (目標)	
診療機能	紹介患者数	1,552	1,967	1,699	3,266	3,202	4,128
	逆紹介患者数	2,554	2,758	2,873	6,536	6,570	6,708
経営指標	病床利用率(一般)	81.3	85.4	86.9	77.3	73.9	77.1
	入院診療単価(円)	37,562	40,313	41,600	52,567	52,073	53,013

## 2 主な重点取組項目の状況

【評価】 ...○:計画通り、△:取組継続要

主な重点取組項目		評価
1 医療機能の充実		
(1) 医療の質的向上		
あき	救急患者受入体制の充実【継続】	○
	手術体制の充実【継続】	○
	がん診療体制の充実(地域がん診療病院指定に向けた取組)	△
	循環器疾患治療の充実	○
	DPC病院への移行	○
幡多	がん診療機能の充実	○
	地域医療支援病院指定に向けた取組【継続】	△
	医療情報システム(電子カルテ)の更新【継続】	○
(2) 第三者機能評価の認定取得		
	病院機能評価の認定取得	○

主な重点取組項目		評価
2 経営基盤の強化		
(1) マネジメントの充実		
	病院及び本庁の経営管理能力の向上	△
(2) 収益の確保		
	入院患者数増に向けた取組(病床利用率の目標設定)	○
(6) 遊休資産の売却		
	処分計画の着実な実行	○
3 医師をはじめとする医療スタッフの確保		
(1) 医師の確保		
	高知大学医学部への訪問【継続】	○
	医師受入れ体制の強化	○
(2) 医師以外の医療スタッフの確保		
	採用試験の改善【継続】	○
(3) 職員の処遇改善		
	看護師業務負担の軽減、労働環境の改善	○
4 人材の育成		
(1) 若手医師の養成		
	初期臨床研修の実施	○
	後期研修の実施【継続】	○
(2) 看護師の専門性の向上		
	認定看護師の更なる養成【継続】	○
5 南海トラフ地震対策の充実・強化		
(1) 災害時医療提供体制の充実		
	BCPの策定及び実効性の担保	○

平成27年度決算見込みの概要

資料1-2

収益的収入及び支出(税抜)

(単位:千円)

	項目	あき総合			幡多けんみん			2病院合計		
		H26	H27	差引 (H27-H26)	H26	H27	差引 (H27-H26)	H26	H27	差引 (H27-H26)
収 益 (A)	医業収益①	3,486,403	3,907,430	421,027	6,438,629	6,246,907	▲191,722	9,925,032	10,154,337	229,305
	うち 入院収益	2,392,944	2,647,822	254,878	4,629,631	4,400,915	▲228,716	7,022,575	7,048,737	26,162
	うち 外来収益	1,017,769	1,178,556	160,787	1,643,811	1,678,308	34,497	2,661,580	2,856,864	195,284
	医業外収益②	1,510,577	1,633,398	122,821	1,826,629	1,811,897	▲14,732	3,337,206	3,445,295	108,089
	うち 他会計繰入金	1,119,122	1,170,880	51,758	1,289,849	1,276,921	▲12,928	2,408,971	2,447,801	38,830
	特別利益	1,159,813	53,905	▲1,105,908	15,043	211,531	196,488	1,174,856	265,436	▲909,420
	収益計	6,156,793	5,594,733	▲562,060	8,280,301	8,270,335	▲9,966	14,437,094	13,865,068	▲572,026
費 用 (B)	医業費用③	4,769,940	5,151,250	381,310	7,388,911	7,339,238	▲49,673	12,158,851	12,490,488	331,637
	うち 給与費	2,499,149	2,688,178	189,029	3,725,731	3,863,536	137,805	6,224,880	6,551,714	326,834
	うち 材料費	633,200	770,026	136,826	1,438,754	1,370,587	▲68,167	2,071,954	2,140,613	68,659
	うち 減価償却費	642,973	631,094	▲11,879	733,255	579,430	▲153,825	1,376,228	1,210,524	▲165,704
	医業外費用④	283,918	325,118	41,200	484,462	527,938	43,476	768,380	853,056	84,676
	うち支払利息及び 企業債取扱諸費	132,168	126,874	▲5,294	210,694	196,934	▲13,760	342,862	323,808	▲19,054
	特別損失	3,483,973	35,522	▲3,448,451	1,371,822	831,174	▲540,648	4,855,795	866,696	▲3,989,099
費用計	8,537,831	5,511,890	▲3,025,941	9,245,195	8,698,350	▲546,845	17,783,026	14,210,240	▲3,572,786	
当年度損益 (A-B)	▲2,381,038	82,843	2,463,881	▲964,894	▲428,015	536,879	▲3,345,932	▲345,172	3,000,760	
収益的資金収支	210,864	312,402	101,538	667,442	466,415	▲201,027	878,306	778,817	▲99,489	
医業収支 (①-③)	▲1,283,537	▲1,243,820	39,717	▲950,282	▲1,092,331	▲142,049	▲2,233,819	▲2,336,151	▲102,332	
経常収支 (①+②-③-④)	▲56,878	64,460	121,338	391,885	191,628	▲200,257	335,007	256,088	▲78,919	



# 高知県立あき総合病院

「一人、ひとりの健康と笑顔のために」

全23診療科  
病床数 270床

内科、消化器内科  
循環器内科、  
呼吸器内科、血液内科  
外科、整形外科  
形成外科、リウマチ科  
リハビリテーション科  
脳神経外科  
胸部・心臓血管外科  
産婦人科、小児科  
耳鼻咽喉科、眼科  
泌尿器科、皮膚科  
麻酔科、放射線科  
救急科、神経内科  
精神科



高知県東部  
安芸保健医療圏  
を支えていくことが  
病院理念です



シンボルマークの意味  
青…窪戸市・東洋町  
オレンジ…中芸5力町村  
緑…安芸市・芸西村  
赤…あき総合病院

以下、今年度の取組みを示します

特に急性期病院  
としての  
機能充実

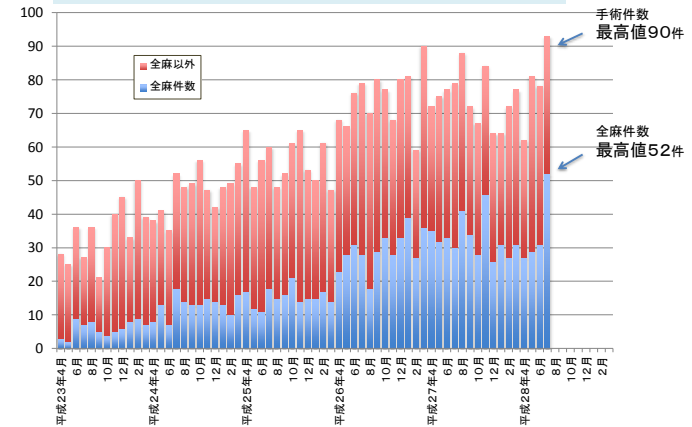
## 重点項目

### 1 医療機能充実に向けた取組み

- 手術実施体制の充実
- 脳外科疾患の救急受入れ、治療体制の充実
- 循環器疾患の検査・治療体制の充実
- 救急診療体制の充実
- 地域の医療機関等との連携強化

## 麻酔科 常勤医師 着任

7月手術・全麻件数 手術件数 90件/月(直近1年平均=74.0件/月)  
(麻酔科常勤医師着任後) 全麻件数 52件/月(直近1年平均=31.8件/月)



■ 脳神経外科開設後の脳卒中救急受け入れ

H27年度  
あき総合病院 脳卒中救急受け入れ 81件



安芸医療圏では年間186件の脳卒中患者(左図)  
圏域内での収容は39.3%

TPA治療(血栓溶解療法)も開始  
Drip & Ship 作戦  
当院でより早期にTPA治療を開始し、SCUのある施設に搬送

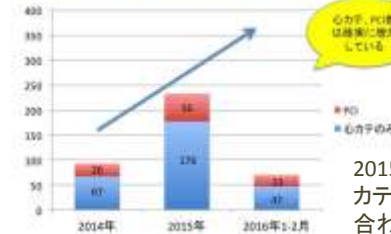
● 循環器疾患の検査・治療体制の充実 循環器科



心臓カテーテル検査  
経皮的冠動脈インターベンション術

2014年4月より開始

県立あき総合病院心臓カテーテル検査件数、PCI件数推移



県下第5位の実施数

2015年(H27年)にはカテ検査、インターベンション合わせて232件施行

● 救急診療体制の充実

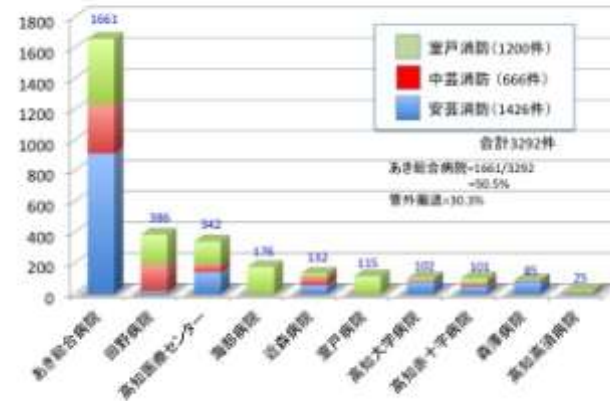
安芸医療圏(安芸・中芸・室戸消防管内)救急搬送件数推移



カバー率は50.5%

平成27年あき総合病院/全体 = 1661/3292 = 50.5%

平成27年安芸医療圏 救急搬送先医療機関トップ10



室戸消防(1426件)  
中芸消防(666件)  
安芸消防(1426件)

合計3292件  
あき総合病院-1661/3292 = 50.5%  
圏外搬送=30.3%



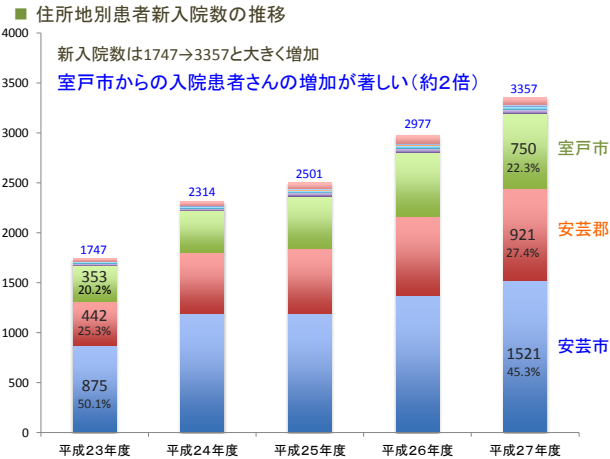


室戸市 人口14000人  
東洋町 人口2500人  
(安芸市18000人)

室戸市の医療機能低下  
↓  
県立病院も関与しないわけにはいかない



室戸市が新たに開所した室戸岬診療所にも診療の応援派遣



今後も室戸市の患者さんの受入を進めていく必要がある。

安芸郡: 芸西村、安田町、馬路村、田野町、北川村、奈半利町、東洋町

重点項目

2 経営基盤強化への取り組み

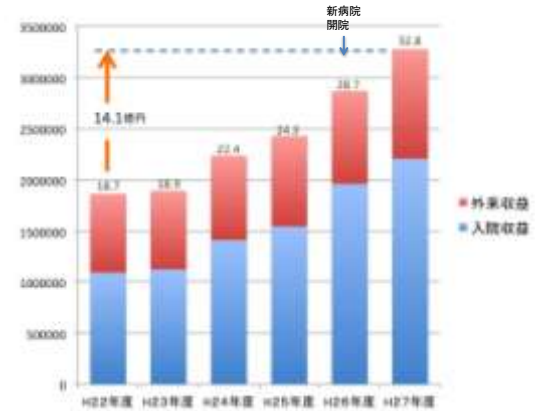
- HCU導入を想定した入院基本料の検討
- 地域がん診療病院指定に向けた取り組み
- DPC機能評価係数IIの向上

■ 県立あき総合病院 年度別経常収支比較



平成17年以来、10年ぶりの経常黒字達成

県立あき総合病院身体科医業収益推移



医業収益の増加は入院収益の増加による  
→ 急性期病院としての収益構造へと変化

● HCU導入を想定した入院基本料の検討

課題: 地域に当院からの後方受け入れ病院が少ない

(1) 地域包括ケア病棟 開始 (平成27年8月より)

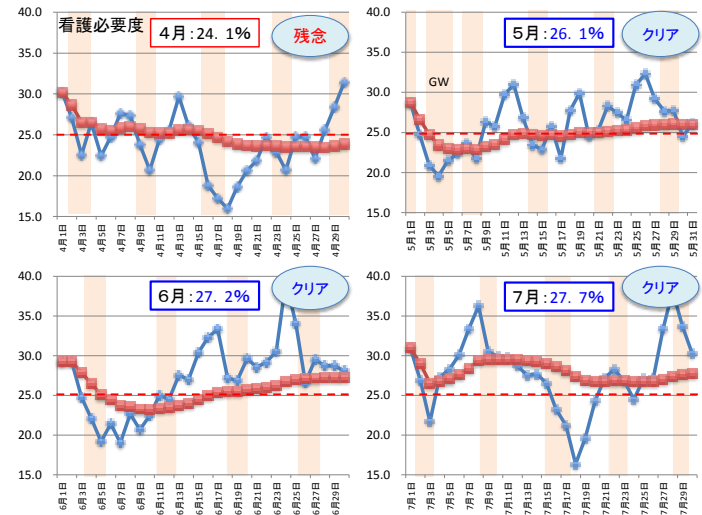
急性期の入院は原則的に4、5、6病棟へ。病態が安定すれば、地域包括ケア病棟へ転棟。



課題: 重症患者増加への対応が必要

(2) 今後、HCU (ハイケアユニット) 等の検討

人工呼吸器管理等が必要な重症患者増加



● DPC算定開始 機能評価係数IIの向上

DPC算定の仕組みと機能評価係数II

DPC種	順位	病院名	機能評価係数I
DPC 1種	1	高知大学医療院	3.0114
	2	高知医療センター	0.089
DPC 2種	1	高知県立徳幸けんみん病院	0.0624
	2	高知県立あき総合病院	0.0708
	3	西島病院	0.0688
	4	くぼかわ病院	0.0614
	5	高知病院	0.0594
	6	清崎とらこ病院	0.0514
	7	徳永病院	0.0498
	8	国立病院機構高知病院	0.048
	9	上庄中央病院	0.045
	10	高知産科病院	0.0402
	11	みまね病院	0.0386
	12	いづみの病院	0.0402
	13	高知病院	0.0386
	14	徳永病院	0.028

機能評価係数IIの向上にて収益向上を目指します。

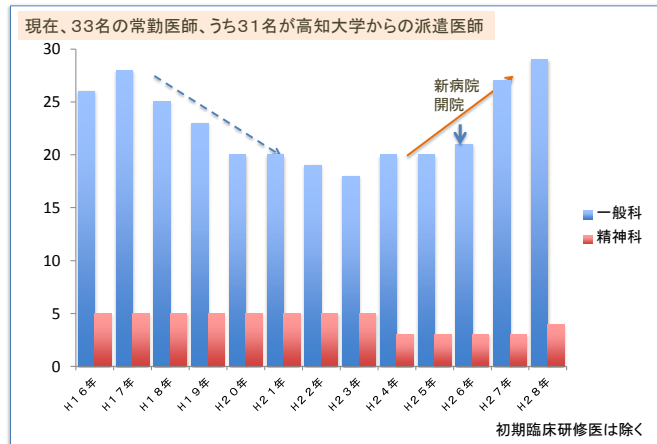
重点項目

3 医師をはじめとする医療スタッフ確保への取り組み

- 高知大学医学部各診療科との連携強化
- 高知大学医学部実習生や研修医の受入促進
- 医師の負担軽減への取り組み(医師事務補助の増員)

● 高知大学医学部各診療科との連携強化

あき総合病院医師数推移



● 高知大学医学部実習生や研修医の受入促進

平成27年度の高知大学医学部医学生実習

- 高知大学医学部実習生や研修医の受入促進

基幹型初期臨床研修開始、家庭医・総合医研修



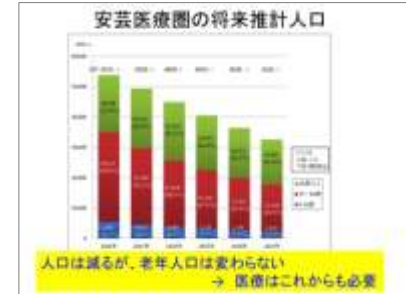
今年度より基幹型初期臨床研修が開始されました

安芸保健医療圏の問題点 急性期医療機能の低下

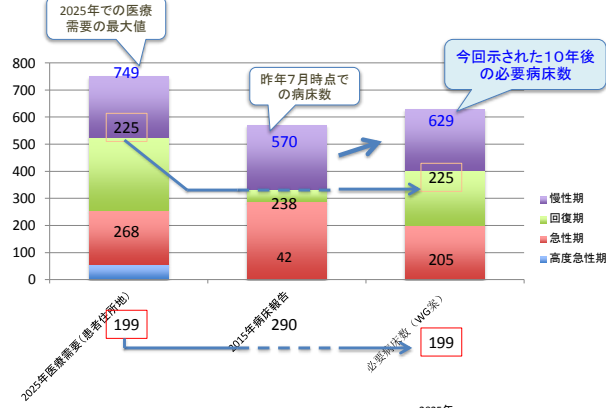


若年人口の減少にて、高齢者を病院に連れていく人も少なくなる  
→高齢者の移動力が低下  
→圏域内での診療が必要

医療機関が少ない  
安芸医療圏だからこそ、  
県立病院の役割が今後さらに重要になると  
思われます。



地域医療構想 安芸医療圏での必要病床数



- 10年後の安芸医療圏の急性期病床数は必要最大数の数字となった。
- 他の医療圏と比べ、安芸医療圏のみ全体の病床数が現在よりも多く示された。
- 当院の機能は現在から大きく変える必要はない

県立病院として、東部二次医療圏のための病院を目指していきます



AKI  
General  
Hospital

青…室戸市・東洋町  
橙…中三つ力町  
緑…安芸市・芸西村  
赤…あき総合病院



## 1 これまでの経営計画の策定状況

期	第1期	第2期	第3期	第4期	第4.5期	第5期	第6期
年度	H6～H10	H11～H15	H16～H20	H21～H23	H24～H25	H26～H28	H29～H32
期間	5年間	5年間	5年間	3年間	2年間	3年間	4年間
名称	経営改善実施計画	経営健全化計画	第3期経営健全化計画	県立病院改革プラン(第4期経営健全化計画)	県立病院改革プラン改訂版(第4.5期経営健全化計画)	第5期経営健全化計画	第6期経営健全化計画
中央 県立病院 の枠組み	[Grey arrow pointing right]				あき総合病院		
幡多 けんみん 病院	[Blue arrow pointing right]						

## 2 第5期経営健全化計画の概要

■計画期間 平成26～28年度(3年間)

### ■目指す姿

- 1 急性期病院として地域の医療機関等との適切な連携により、良質な医療を提供する。
- 2 地方公営企業として将来にわたって持続可能な経営を行う
- 3 次代の高知を担う医療人材を育成する

### ■目標

[医療の視点] 将来にわたり、地域において必要な医療を安定的かつ継続的に提供する  
 [経営の視点] 病院事業全体で早期の経常黒字化を目指す

### ■重点取組項目

- 1 医療機能の充実
- 2 経営基盤の強化
- 3 医師をはじめとする医療スタッフの確保
- 4 人材の育成
- 5 南海トラフ地震対策の充実・強化

## 3 第6期経営健全化計画の要旨(案)とスケジュール

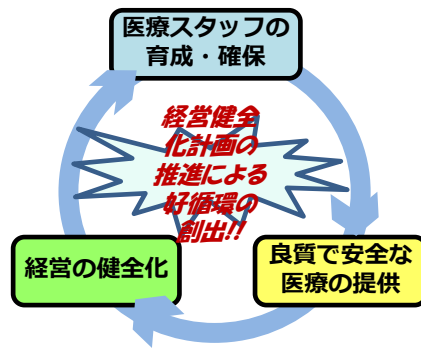
■計画期間 平成29～32年度(4年間)

### ■目標

地域生活を支える中核病院として、地域の医療機関等との連携のもと、良質な医療の持続的な提供を可能とする健全経営を目指す

### ■重点取組項目

- 1 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備
  - (1) 地域医療構想への積極的かつ柔軟な対応
    - 急性期病院としての医療機能の充実・強化
    - 地域医療を支えるためのネットワークづくり
  - (2) 地域包括ケアシステムの推進に向けた機能の発揮
    - 在宅医療や介護等との連携強化
- 2 医療機能の向上による経営の健全化
  - 質と効率性の高い医療の提供に向けた経営・業務目標の設定
- 3 医療人材の安定確保
  - 医師等の医療スタッフを確保するための取組の強化
- 4 南海トラフ地震対策の充実・強化
  - 熊本地震を踏まえた第3期南海トラフ地震対策行動計画の見直し等への対応



### ◆スケジュール

#### 【これまでの取組】

- 4.28 経営者会議にて骨子(案)の確認
- 5.24 あき総合病院協議
- 5.31 幡多けんみん病院協議
- 8.29 経営健全化推進委員会

#### 【今後の予定】

- 9月 経営者会議にて計画(素案)の決定
- 10月 収支計画の策定着手  
計画(原案)の作成
- 2月 経営者会議、経営健全化推進委員会にて計画(原案)決定
- 3月 県議会報告・策定

平成 28 年 8 月 29 日

第 10 回高知県立病院経営健全化推進委員会

高知県立病院  
第 6 期経営健全化計画  
(要旨案)

平成 28 年 8 月

高知県公営企業局

## I. 策定の趣旨（背景）

- 高知県立病院では、平成6年度に策定した「高知県立病院事業経営改善実施計画」以降、5期23年にわたって経営改善・経営健全化の取り組みを進めてきた。
- 本年度末をもって、「第5期経営健全化計画」の期間が終了するため、平成29年度を始期とする新たな中期経営計画を策定する。
- 第3期日本一の健康長寿県構想（平成28年度～31年度）を踏まえた計画とする。  
～地域地域で安心して住み続けられる県づくり～
- 「新公立病院改革ガイドライン」（平成27年3月31日付け総務省自治財政局長通知）により策定することとされている新公立病院改革プランとする。  
～医療提供体制の改革と連携した公立病院の経営の効率化・再編等の推進～

## II. 名 称 高知県立病院第6期経営健全化計画

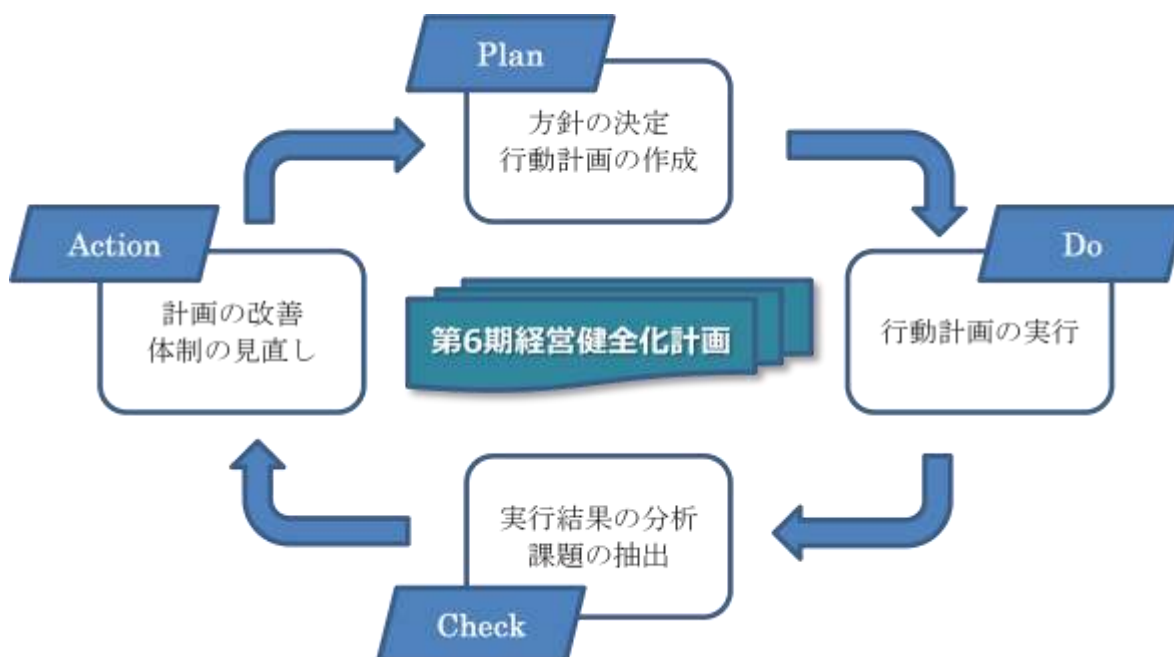
- これまでの計画との継続性を重視し、次期計画の名称は「高知県立病院第6期経営健全化計画」とする。

## III. 計画期間 4年間（平成29年度～平成32年度）

- 新公立病院改革ガイドラインで標準とされる平成29年度から平成32年度を計画期間とする。

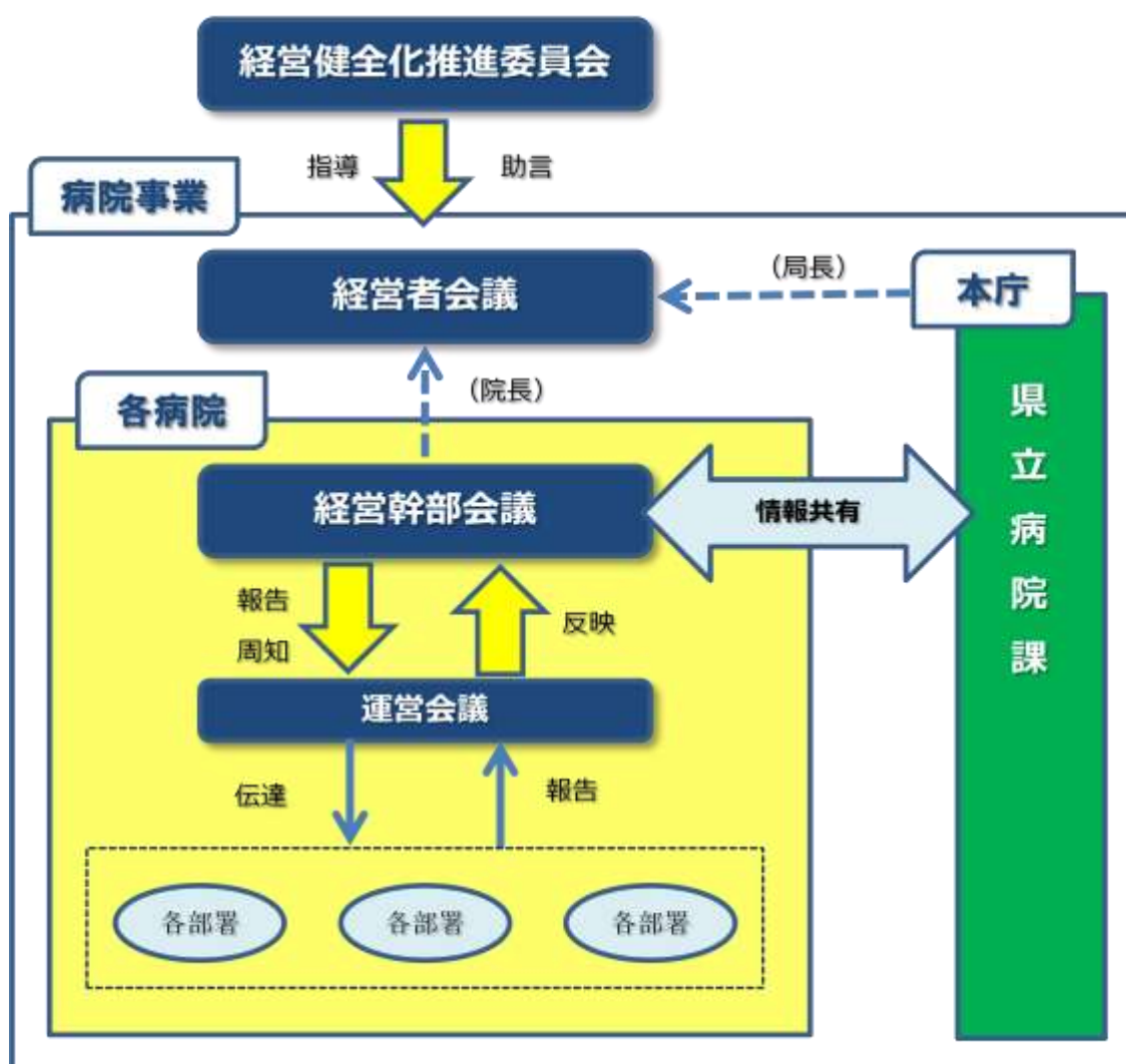
## IV. 計画の進捗管理と経営管理体制

- 四半期ごとに進捗状況を確認し、PDCAサイクルでマネジメントを行う。
- 経営管理体制については第5期経営健全化計画において確立した、病院と本庁が一体となったマネジメント体制を維持する。



## ●経営管理体制

名 称	主たる役割	構成（メンバー）	開催頻度
経営健全化推進委員会	経営健全化のための指導助言	外部有識者(7名)	年1回程度
経営者会議	病院事業の経営方針の決定	局長、院長	年2～3回程度
経営幹部会議	・病院の経営方針の決定 ・経営課題の共有、解決策の立案	・病院：院長等 ・本庁：局長等	月次
運営会議	・経営幹部会議における決定事項等を各部署に伝達	・経営幹部会議の院内メンバー ・院内各部署の代表者	月次



## V. 病院事業全体の目標

●地域生活を支える中核病院として、地域の医療機関等との連携のもと、良質な医療の持続的な提供を可能とする健全経営を目指す！

## VI. 病院事業全体の重点取組項目

### 1 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備！

#### (1) 地域医療構想への積極的かつ柔軟な対応！

- 急性期病院としての医療機能の充実・強化
- 地域医療を支えるためのネットワークづくり

#### (2) 地域包括ケアシステムの推進に向けた機能の発揮！

- 在宅医療や介護等との連携強化

### 2 医療機能の向上による経営の健全化！

- 質と効率性の高い医療の提供に向けた経営・業務目標の設定

### 3 医療人材の安定確保！

- 医師等の医療スタッフを確保するための取組の強化

### 4 南海トラフ地震対策の充実・強化！

- 熊本地震を踏まえた第3期南海トラフ地震対策行動計画の見直し等への対応



## Ⅶ. 第5期経営健全化計画の総括

		あき総合病院			幡多けんみん病院		
		計画	H27実績	計画比	計画	H27実績	計画比
病床利用率	一般	84.0%	85.4%	+ 1.4%	80.3%	73.9%	▲6.4%
	精神	86.7%	88.2%	+ 1.5%			

### 【コメント】

- 
- 

入院 診療単価(円)	一般	40,000円	40,313円	+ 313円	52,573円	52,073円	▲500円
	精神	15,000円	15,140円	+ 140円			
1日平均 入院患者数	一般	147.0人	149.7人	+ 2.7人	249.7人	230.9人	▲18.8人
	精神	78.0人	79.4人	+ 1.4人			

### 【コメント】

- 
- 

### 【2 病院合計】

(単位：百万円)

	H25 決算	H26 決算	H27 決算見込み
総収益	11,683	14,437	13,865
総費用	12,282	17,783	14,210
単年度損益	▲ 599	▲ 3,346	▲ 345
経常損益	▲ 507	335	256
医業損益	▲ 2,311	▲ 2,224	▲ 2,336

### 【コメント】

- 
-

## Ⅷ. 両病院の基本姿勢

### ●あき総合病院

安芸地域の医療ニーズを踏まえて、急性期医療を担う中核病院として、良質な医療の安定的な提供と地域の医療機関等との連携により、人々の心とからだの健康を支えていく。

### ●幡多けんみん病院

幡多地域の急性期医療を担う中核病院として、良質な医療を提供することによって、地域の医療機関等との連携のもとに、地域で完結できる医療体制を構築する。

## Ⅸ. 重点取組項目に基づく個別の取組

### 1 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備！

#### (1) 地域医療構想への積極的かつ柔軟な対応！

### ●あき総合病院

- ア 急性期病院としての医療機能の充実・強化
  - 地域医療構想で示された 2025 年の必要病床数への対応  
地域の医療ニーズを見すえた病床機能の検討
  - 救急医療の充実  
救急に必要な医師の確保（脳外科、救急科）
  - がん診療機能の充実  
地域がん診療病院の指定（課題整理）
- イ 地域医療を支えるためのネットワークづくり
  - 医師の派遣・応援

#### 医療機能指標

	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
救急車受入件数				
新入院患者数				
手術件数				

## ●幡多けんみん病院

- ア 急性期病院としての医療機能の充実・強化
  - 地域医療構想で示された 2025 年の必要病床数への対応  
病棟再編の検討
  - 地域がん診療連携拠点病院としての機能充実  
病理医の充実、呼吸器科医師の確保、がんに関する勉強会の開催
- イ 地域医療を支えるためのネットワークづくり
  - 医師の派遣・応援

医療機能指標

	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
新入院患者数				

## (2) 地域包括ケアシステムの推進に向けた機能の発揮！

### ●あき総合病院

- 地域包括ケア病棟を活用した地域連携の推進  
入退院支援担当者の配置等による在宅療養者支援策の充実・強化
- 介護・福祉分野等との連携強化  
地域包括支援センター等との連携

### ●幡多けんみん病院

- 地域医療支援病院の指定に向けた機能の充実  
在宅療養者支援策の充実・強化に向けた入退院支援センターの機能強化（紹介率、逆紹介率の向上、地域の施設ケアマネージャーとの連携強化）、地域連携パスの充実等
- 介護・福祉分野等との連携強化  
地域包括支援センター等との連携

医療機能指標

	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
紹介率				
逆紹介率				

## 2 医療機能の向上による経営の健全化！

## ●あき総合病院

- DPC データの分析と活用
- 委託業務の適正管理
  - 医事、給食業務の患者満足度向上
- 材料費の適正化
  - 在庫の適正化、後発医薬品への切替継続、棚卸資産管理マニュアルの見直し
- 病院機能と収支計画を踏まえた投資計画の策定
  - 地域の医療ニーズを踏まえた増築の検討
- 未収金の縮減
  - 未収金対応マニュアルに沿った対応の徹底

### 経営指標

	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
医業収支比率				
経常収支比率				
病床利用率（稼働）				
1日平均入院患者数				
入院診療単価				
後発医薬品使用率				

## ●幡多けんみん病院

- DPC データの分析と活用
- 委託業務の適正管理
  - 医事、給食業務の患者満足度向上
- 材料費の適正化
  - 在庫の適正化、後発医薬品への切替継続、棚卸資産管理マニュアルの見直し、薬剤のSPD委託業務拡大
- 病院機能と収支計画を踏まえた投資計画の策定
- 未収金の縮減
  - 未収金対応マニュアルに沿った対応の徹底

### 経営指標

	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
医業収支比率				
経常収支比率				
病床利用率（稼働）				
1日平均入院患者数				
入院診療単価				

### 3 医療人材の安定確保！

#### ●あき総合病院

地域の医療を担う医師をはじめとする医療従事者の育成

- 医師の育成
  - 卒前教育への協力（学外実習・病院見学の積極的な受け入れ、地域枠学生の受け入れ）、初期臨床研修の実施、後期研修の実施、専門医取得体制の整備
- 医師及び医療スタッフの確保
  - 高知大学医学部と連携した医師確保、学外実習・病院見学の積極的な受け入れ、各種養成学校の定期訪問の実施、助産師の養成・確保
- 医療スタッフの専門性の向上
  - 認定看護師の養成、公費負担による資格取得の促進
- 職員の処遇改善
  - 医師事務補助者の適正配置、看護補助業務の委託検討
- プロパー事務職員の専門性向上
  - 経営企画力の向上による経営改善、マネジメント力の向上に向けた研修の充実

#### ●幡多けんみん病院

地域の医療を担う医師をはじめとする医療従事者の育成

- 医師の育成
  - 卒前教育への協力（学外実習・病院見学の積極的な受け入れ、地域枠学生の受け入れ）、初期臨床研修の実施、後期研修の実施、専門医取得体制の整備
- 医師及び医療スタッフの確保
  - 高知大学医学部と連携した医師確保、学外実習・病院見学の積極的な受け入れ、各種養成学校の定期訪問の実施、助産師の養成・確保
- 医療スタッフの専門性の向上
  - 認定看護師の養成、公費負担による資格取得の促進
- 職員の処遇改善
  - 医師事務補助者の適正配置、看護補助業務の委託検討
- プロパー事務職員の専門性向上
  - 経営企画力の向上による経営改善、マネジメント力の向上に向けた研修の充実

### 4 南海トラフ地震対策の充実・強化！

#### ●あき総合病院

- 熊本地震を踏まえた第3期南海トラフ地震対策行動計画の見直し等への対応



南海トラフ地震に備えた BCP の実効性向上のための見直し及び訓練の充実

## ●幡多けんみん病院

- 熊本地震を踏まえた第3期南海トラフ地震対策行動計画の見直し等への対応  
南海トラフ地震に備えた BCP の実効性向上のための見直し及び訓練の充実

## X. 収支計画

- 収支計画 平成 29 年度から 32 年度まで（4 年間）

<主な記載項目>

- ・収 支 医業収支、経常収支、当年度損益
- ・資金収支 収益的資金収支
- ・指 標 医業収支比率、経常収支比率、職員給与費比率、材料費比率、入院診療単価、病床利用率（稼働）、1 日平均入院患者数